

令和6年度学校自己評価システムシート (県立羽生第一高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応えるため「自主・自律 求めて強き風に立つ」の精神のもと、積極的に課題解決に挑戦する生徒を育成する。
--------	--

重点目標	1 基礎学力に裏打ちされた学力向上の結果、高いレベルの進路実現を図る。 2 保護者と連携して、地域の模範となるような規範意識を醸成する。 3 活気に満ちた生徒の姿と特色ある教育活動を発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) 生徒の進路については多岐にわたり、進路実現の達成が求められる。目標の設定と達成に向けた学力向上は必須である。校内での対策として、朝読書や新聞活用等の取組みを行っているが、明確な成果をあげるまでは至っていない。令和5年度入学生から導入されたタブレット端末では、授業を始めとする教育活動等で、効果的な活用が求められている。 (課題) 生徒個人の目標の設定と進路実現に向けた、主体的な姿勢の育成が求められる。また、タブレット端末の効果的な活用方法の検証も必要であり、観点別評価の共通理解のもと、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善につなげていく。	目標や進路希望を見据えた学習活動の充実を図る。	○生徒の学習に対する意識改革と、効率的な学習活動を定着させる。 ○生徒の主体的な学習時間を確保させる。 ○学びの基礎診断に基づいた生徒個人への指導を実践する。 ○教育活動におけるタブレット活用を研究し、授業改善とともにICT教育の充実を図る。	○明確な目標設定を行うことができたか。目標達成に向けて取り組みを行っているか。 ○主体的な学習時間が増加したか。 ○学びの基礎診断の結果の向上は見られたか。 ○校内ICT環境の十分な活用を進め、教職員のスキルアップにつなげることができたか。			
		段階的な進路指導により、進路実現を達成させる。	○学年毎、段階に応じた進路指導計画を策定し、効果的な指導を検証し継続な指導を行う。 ○生徒個人に主体的な目標の設定を行なわせ、具体的な達成行動を実践させる。 ○保護者の進路に対する意識の向上と、学校との協力関係の構築を行う。	○学年毎に進路指導を行うことができたか。 ○生徒の実態に適した進路行事の充実と個に応じた進路選択を支援できたか。(教員アンケートにより肯定的な意見が多数を占めたか。) ○的確な情報提供が行われ、進路指導への満足度が高まったか。(生徒・保護者アンケートへの回答は高められたか。)			
2	(現状) 礼儀正しく、真面目で落ち着いた生徒が多い。一方で、主体的な課題解決に向けた行動力が弱い。 (課題) 課題解決に向けた主体的な行動と持続する力の育成が必要である。進路実現と生徒指導の一体化にむけ、保護者とも連携していく。	「一高基準の規範意識」を持たせ、品格ある生徒の育成を図る。	○全教職員が共通理解のもと、定期的な整容指導と挨拶指導を実施し、規範意識の醸成を図る。 ○「一高手帳」の活用を指導し、生徒の時間管理並びに自己管理及び文章要約能力を身に付けさせる。 ○校内外で実施される行事などに主体的に参加する意識を高めさせる。	○整容への意識を高め、積極的な挨拶行動ができた生徒が増加したか。 ○キャリアパスポートを意識した「一高手帳」の活用指導を理解し、有効に活用することができたか。 ○校内外において実施される行事などに、主体的に参加又は貢献できる生徒を育成できたか。			
3	(現状) 広報活動に力をいれているが、ここ数年生徒募集に苦戦している。 (課題) 興味関心を持って学校広報に接してもらえる内容を発信し、効果的な生徒募集につなげていく必要がある。	保護者や地域との関係を維持し、魅力ある教育活動の様子を発信し、生徒募集につなげていく。	○広報媒体を有効に活用し、適宜情報の発信を続けていく。 ○コロナ禍からの移行に尽力し、地域連携や異校種交流を積極的に進め、学校理解につなげる。 ○学校広報誌を定期的に発行し、教育活動の理解を求めていく。	○定期的な情報提供など、内容とともに的確に行えたか。 ○年度内に地域や異校種からの要望に応え、交流を推進することができたか。 ○広報誌の発行や情報の提供によって、受検生の増加が見ることができたか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	